

大阪湾漁場環境速報

平成19年11月16日発行
兵庫のり研究所

(水温) 表層は湾内18~21 台で、平均20.3 。-10m層は平均20.6 。

(塩分) 表層平均32.62psu。-10m層平均32.88psu。紀伊水道から流入する海水の影響を受けている海域では33psu以上の高い値を示している。

(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均6.9 μg-at/L、リン濃度は平均0.55 μg-at/L。栄養塩は、一部 (St.012 表層) で著しく低い値を示しているものの、窒素、リンとも概ね平年(9.2, 0.61)よりやや低い値であった。-10m層(平均)は、窒素6.7 μg-at/L、リン0.59 μg-at/L。大阪湾全般に、多種の珪藻(コシノディスカス、タラシオシラ他)が増加しており、湾南部を中心にタラシオシラの一つ (*Th. diporocyclus*) が多く認められた。透明度は3.5~9.0mで、平均5.8m。pHは表層平均8.40。

(コシノディスカス)

表層：海水1Lあたり 5~185細胞
-10m層：海水1Lあたり 85~405細胞

上段(今回値)	平成19年11月15日調査
中段(昨年値)	平成18年11月6日調査
下段(平年値)	(11月上旬値)

調査地点	水温()	塩分(psu)	三態窒素(μg-at/L)	磷酸(μg-at/L)
04	21.2	33.40	5.5	0.51
	22.9	33.19	3.9	0.41
	21.5	32.63	6.1	0.50
05	20.8	32.86	6.6	0.72
	22.5	32.15	4.1	0.49
	21.1	31.91	8.8	0.71
06	20.7	32.92	8.3	0.77
	22.4	32.43	5.2	0.50
	20.7	31.31	10.9	0.69
07	20.8	32.89	6.7	0.72
	22.4	32.30	4.5	0.50
	21.1	31.89	8.0	0.64
08	20.4	32.76	4.3	0.43
	22.7	32.93	3.7	0.38
	21.2	32.18	7.0	0.53
09	21.0	33.20	5.3	0.53
	22.9	33.18	3.7	0.38
	21.3	32.32	6.6	0.54
010	19.8	32.37	6.7	0.38
	22.2	32.32	4.2	0.49
	20.8	31.79	7.9	0.56
012	19.6	32.30	1.1	0.17
	22.3	32.40	4.9	0.49
	20.4	31.26	10.4	0.61
013	20.2	31.04	22.7	1.04
	18.7	30.72	19.1	0.58
	20.9	30.58	0.4	0.09
016	19.7	29.78	16.6	0.67
	20.3	29.93	46.3	1.71
	18.4	27.69	55.1	2.64
018	20.4	29.01	0.6	0.14
	19.5	28.31	36.6	1.47
	20.8	32.94	6.9	0.69
S1	21.5	31.83	1.5	0.22
	20.7	31.42	9.3	0.65
S2	19.2	31.74	8.2	0.47
	21.2	31.37	1.4	0.16
S3	20.2	30.54	13.3	0.65
	20.8	32.88	6.5	0.72
S4	22.6	32.29	4.5	0.49
	21.0	31.72	8.4	0.68
	20.8	33.05	5.0	0.47
	22.8	33.07	4.2	0.48
	21.4	32.65	6.6	0.56

